



市議会
だより

きたあきた



18 平成21年5月1日発行

3月定例会

- 定例会の審議 2～3
- 第1回臨時会・委員会レポート ... 4
- 審議結果 5
- 常任委員会の審査報告 6～7
- 一般質問 8～9
- 請願陳情・人事案件 10

阿仁地区に群生するミズバショウ
〔撮影：広報公聴特別委員会〕

一般会計
予算

前年比 7億6000万円減の197億円 市長交替のため 骨格予算に

3月議会

全議案を可決し閉会

岸部市長最後の議会となった3月定例会は2月24日開会し、21年度一般会計予算案など市長から提案された65議案をいずれも可決して3月10日に閉会しました。このうち介護保険料や上・下水道料金の値上げ案、市民病院建設に関する予算案など21議案は意見がわかれ賛成多数で可決となり、ほかの44議案は全会一致で可決しました。

3月議会に提案される一般会計予算案は、通常は次年度1年間の予算が提案されますが、今回は岸部市長が任期切れとなることから骨格予算が

提案されました。そのため21年度一般会計予算案は、合併後はじめて200億円を下まわり、前年当初比で3・7%減の197億1793万3000円となりました。

主な質疑と答弁は次の通り。

議員 内陸線の乗車人数アップを図ることに異論はないが今回提案された内陸線利用通学者補助金は、内陸線の運賃も出す、スクールバスもこれまで通り出すという二重の支出。経費節減という市の方針に逆行するのではないか。

企画部長 たしかに21年度は二重支出になるが、駅までの2次アクセス網を整備する計画がすすめばスクールバスは廃止するので二重支出は解消される。

新年度予算の採決のようす



議員 阿仁スキー場に関する

予算が例年通り計上されている。来シーズンも存続するものと考えてよいのか。

産業部長 存続したいと考え従来通りの予算を計上した。

議員 雇用状態が非常に厳しい。緊急雇用対策として市が考えていることは何か。

産業部長 臨時職員をすでに20人雇用した。今後国、県の雇用創出予算も活用して雇用増を見込んでいる。

議員 当市の人口規模では職員数は350人が標準だが、正職員・非常勤職員あわせて792人もおり給料、報酬が莫大となっている。

総務部長 保育士や給食センター調理員などに非常勤職員が多く、運営を委託することなど検討をしたい。

議員 学校給食費値上げなど

議会用語 豆知識 『骨格予算』とは…

年度途中に首長が任期を終える場合、その首長が1年間を通した政策的予算を提案することは、道理上も選挙民の立場からも好ましくない。よって次にだれが首長になっても必ず計上することになる人件費や扶助費などの義務的経費と前年度からの継続事業費を中心に予算編成することを**骨格予算**という。新首長は選挙後の議会で政策的予算を提案する。

が提案されているが、市民が安心して生活できる予算とすべきではなかったか。

市長 市民が安心安全に、という観点で予算を作った。

以上の質疑と常任委員会審査を経て、討論がありました。

反対討論 保育士など子育てに携わる非常勤職員は報酬でなく賃金とするべき。通勤手当が本来より1000万円程多くなっている。予算書の間違い、差し替えが多くなるでいる。

採決では賛成多数で可決となりました。

市民病院めぐり 今回も 議論噴出

市民病院については今回も質疑が集中しました。

約91億円の建設費のうち50億円程は20年度までに予算化しており、21年度病院事業会計では残りの40億円余りが計上されました。40億円の内訳は借金は約34億円、補助金が約5億円、一般会計からの支出が1億円弱です。

主な質疑と答弁は次の通り。
議員 この予算案は1年間を通した予算。今年10月から開業するというのに、収支計画や業務内容、医師の人数など何も入っておらず病院がどうなるのかさっぱり見えない。

市長 3月議会までには厚生連と協議して締結したいと思っていたが伸びている。しかし私の任期中（注11 4月16日まで）に基本協定締結も含めてしっかりやりたい。

議員 高度医療をやりたいというところで最初は医療機器購入費を10億円みていた。それが5億円になり、結局3億円まで減った。これで購入する機器は何か。

市長 放射線がん治療器・ト

モセラピーは医師が確保できなくてやめた。超音波がん治療器・FUS（ファス）は保険適用になっておらずやめることにした。代わって心臓診断機器を入れる予定。

議員 入院患者数1日282人、10月から来年3月までの合計を5万9834人と書いてあるが、282人×6カ月

介護保険料は3年に1回の見直しが行われることになっており、今年がその改定期にあたります。これまでの基準額は月額4442円でしたが353円増の4795円とする案を市が提案しました。

これに対しては賛成、反対両方の立場から3議員が討論しました。

反対討論 くらしが大変になっているこの時期に、ほかの公共料金値上げもこの介護保険料の値上げも重なり、値上げしようとする姿勢を疑う。6段階の料金設定をもっと細

では5万1324人となり数字が間違っている。
担当課長 9月分からの書いた。

以上の質疑と常任委員会審査を経て、討論がありました。
反対討論 「市民病院の建設で大変な借金を背負うのに、それを本当に返せるのか。む

かくするなど負担を少しでも抑えるよう努力すべき。
賛成討論 利用者が増えれば保険料が増えるのは当然。今回の引き上げ案はベストだ。基金はあるができるだけ使わないで残すべき。

介護保険料 上下水道料金 値上げ案に反対意見も

しろ開業後も赤字になって市の財政が大変なことになりはしないか」と多くの市民が心配しているのに、それがどうなるのかまったく見えない。「お金のことはどうなるかわからないけど、とにかく開業だけはさせましょう」という内容であり、認められない。また、当局が間違っている患者数を議会が可決することはあつてはならない。

採決では賛成多数で可決となりました。

上・下水道料金については「値上げしないと事業がやっていけなくなる」などと当局説明があり、次のような討論がありました。

反対討論 合併すれば「サービスは高い方に、負担は低い方に」と言ったはずなのにそうなのではない。市民の負担にだけ頼るのでなく、別の財源確保も考え市民の負担を抑えるべき。

賛成討論 賛成討論はありませんでしたが、賛成多数で可決しました。

旧町ごとに各1施設づつある体育館を指定管理者に運営させる案ならびに鷹巣、合川、森吉の体育館使用料金を統一する案が提案され、次のような討論がありました。

反対討論 指定管理にするのは経費節減が目的だが、フロアの床などにはこれまで通りお金をかけて整備していないと大会で支障をきたすおそれがある。スポーツ振興の観点からこれまで通り直営で行うべき。料金についても「統一」というが、体育館の広さ、新しさ、設備の完備状況などまちまちなのを金額だけ同じにしても統一とはよべない。

賛成討論はありませんでしたが、賛成多数で可決しました。



体育館の指定管理にも異論

第1回 臨時会

道路新設費など可決

平成21年の第1回臨時会が1月26日開かれ、上程された20年度一般会計補正予算（第8号）と財産の処分2件、財産の取得1件の計4議案をいずれも可決して閉会しました。

補正予算案と財産取得は、太田川口線ならびに根田下杉線の建設に関わるもの。次のような質疑・答弁と討論がありました。

議員 それぞれの道路の距離数と建設費はいくらか。

建設部長 太田川口線は鷹巣元町地域の新設工事で、距離数は365㍎、事業費が7億1200万円。根田下杉線は阿仁川の橋梁も含み、距離数は1222㍎、事業費が20億円となっている。

反対討論 厳しい財政下であり、事業の必要性、緊急性、費用対効果を吟味すべき。太田川口線は、地域振興局からJA鷹巣前までりっぱな道路がありながらすぐ横にもう1本作るというもので必要性、緊急性はきわめて低い。根田下杉線は、完成してもわずか

3分しか短縮にならない。それに20億円もかけるのでは市の財政はますます厳しくなるので反対。

賛成討論はありませんでしたが、採決では賛成多数で可決となりました。

財産処分2件は、阿仁前田の阿仁川拡幅工事に伴う市有地売却と鷹巣栄地内の国道建設に伴う市有地売却。どちらも全会一致で可決しました。



【要請項目】

1. 企業ニーズの高い用地提供とスピード感のある行政対応
基盤整備等オーダーメイド方式の誘致を行う。
2. 産業集積の強化
誘致する業種の特徴を的確に把握し、ポイントを絞った誘致活動を行う。
3. 人材の確保
地域の高校・短大・各種学校との連携を図り、支援体制を持続的に強化する。
4. 自治体による既存立地企業へのアフターフォローサービスの強化
関連企業の進出の立地条件として、サービスの強化を行う。
5. 既存工業団地のインフラ整備
工業用水の確保（森吉山ダムの活用）及び利用料金の見直し。アクセス道路の拡幅整備等。
6. 自治体を持っている資源の特徴を生かす
社会インフラの特徴を生かした企業誘致を行う。農林業を中心とする地産地消運動による雇用の創出。当市の自然環境を活用した環境リサイクルやエコ産業等。
7. 企業誘致戦略の見直し
市の計画作成を含む企業誘致推進室の強化。積極的な誘致戦略の取り組み。幹部職員による企業訪問活動。国・県への働きかけ及びタイアップの促進等。

同委員会の設置にあたり、当局だけでなく議会も市民のニーズにあわせて企業誘致に取り組む必要性がある点から設置した特別委員会であり、平成18年12月定例会で設置以来18回の委員会及び調査誘致活動を行ってきました。

委員会レポート

〈企業誘致調査特別委員会〉

要請項目を付して終了

地協議会、北秋田市との意見交換の実施、県地元地域振興局との意見交換、7月末には企業誘致促進に関する陳情書の提出、さらに秋田県知事への議長を先頭にして直接、促進に関する

て協議したところ、これ以上委員会を存続しても今の状況からして誘致に走り回っても話に乗ってこくる企業はないので、一区切りつけるべきでは。

また、これ以上やっても

意味がないの委員の声、誘致は困難だと思いが火を消さないで存続して行くのも一つの方法で

はとの委員がおりましたが、多数の委員は終了を唱える点から、当局に対して要請項目を付して、本定例会をもって終了するものです。

（委員長 中嶋力蔵）

今 定 例 会 で 審 議 さ れ た 議 案 と 結 果

事 件	審議結果		事 件	審議結果	
専決処分の承認を求めることについて (専決第1号 平成20年度北秋田市一般会計補正予算第9号)	全会一致	承認	平成20年度北秋田市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市一般会計予算	賛成多数	原案可決	平成20年度北秋田市宅地造成事業特別会計補正予算(第4号)	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市国民健康保険特別会計予算	全会一致	原案可決	平成20年度北秋田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計予算	全会一致	原案可決	平成20年度北秋田市栄財産区特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市老人保健特別会計予算	全会一致	原案可決	平成20年度北秋田市前田財産区特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市介護保険特別会計予算	賛成多数	原案可決	平成20年度北秋田市阿仁合財産区特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市介護サービス事業特別会計予算	賛成多数	原案可決	平成20年度北秋田市大阿仁財産区特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市簡易水道特別会計予算	賛成多数	原案可決	平成20年度北秋田市病院事業会計補正予算(第3号)	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市農業集落排水事業特別会計予算	賛成多数	原案可決	平成20年度北秋田市宅地造成事業特別会計への繰入について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市下水道事業特別会計予算	賛成多数	原案可決	北秋田市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	賛成多数	原案可決	北秋田市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	原案可決	北秋田市高齢者福祉センター条例を廃止する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市坊沢財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市綴子財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市栄財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市沢口財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市七日市財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市米内沢財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市下水道事業受益者負担金等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市前田財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市阿仁合財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市阿仁戸別浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市大阿仁財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市病院事業会計予算	賛成多数	原案可決	北秋田市体育館条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市水道事業会計予算	賛成多数	原案可決	北秋田市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
北秋田市簡易水道特別会計への繰入について	全会一致	原案可決	北秋田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
北秋田市農業集落排水事業特別会計への繰入について	全会一致	原案可決	秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	賛成多数	原案可決
北秋田市下水道事業特別会計への繰入について	全会一致	原案可決	北秋田市上下小阿仁村病院組合規約の一部変更について	全会一致	原案可決
北秋田市特定地域生活排水処理事業特別会計への繰入について	全会一致	原案可決	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	全会一致	原案可決
平成20年度北秋田市一般会計補正予算(第10号)	賛成多数	原案可決	平成20年度北秋田市一般会計補正予算(第11号)	全会一致	原案可決
平成20年度北秋田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	北秋田市七日市財産区管理委員の選任について	全会一致	同意
平成20年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計補正予算(第4号)	全会一致	原案可決	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致	同意
平成20年度北秋田市老人保健特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	北秋田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成20年度北秋田市介護保険特別会計補正予算(第4号)	全会一致	原案可決	各常任委員会及び議会運営委員会の所管事務調査について	全会一致	原案可決
平成20年度北秋田市簡易水道特別会計補正予算(第4号)	全会一致	原案可決	北秋田市議会議員の定数を定める条例の制定について	全会一致	原案可決
平成20年度北秋田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	全会一致	原案可決	議会運営委員会委員の選任について	選 任	
平成20年度北秋田市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	全会一致	原案可決	企業誘致調査特別委員長報告		

総務企画

交付税は伸び、市税は減少

当委員会に付託された案件は、条例案1件、単行議案1件、承認1件、予算案15件、陳情2件でした。

分合せて7399万4000円の減少で、11億8719万9000円を計上。

平成21年度一般会計歳入では普通交付税で3・5%、特別交付税で2・6%の伸びを見込み、前年度より3億311万7000円多い99億7243万1000円を計上。

歳出では秋田内陸地域公共交通連携におけるふるさと教育事業として小学校2、4年生と中学校2年生合せて863名を対象として241万8000円を計上。衆議院、知事、市長、県議補選、市議選等の選挙関連として1億99

15万9000円を計上。

反対討論として、臨時職員に対する報酬の支払いや内陸線の通勤手当の支払い、債務負担行為の取扱いが不適切であるとの意見が出されましたが賛成多数で原案可決と決しました。付帯意見として政策的配慮が必要な事項に対応できる規則等を明文化することにより、透明性の確保を図るという内容を付しました。

金利低下により

公債費が減少

平成20年度一般会計補正で

は交付税が確定したことにより財政調整基金約1億4000万円繰入れすることにより合計で約4億6000万円となります。不動産売却収入として、一般国道7号線鷹巣大館道路工用として山林を約5710万円、災害復旧助成事業用として約5294万9000円などが主なものであります。

歳出では公債費の利子が3%から1%に低下することにより3021万円の減少で合計31億2029万7000円となりました。生活バス路線

維持費補助金として15路線で5348万6000円を計上。代替タクシーは現在鷹巣だけで実施、地域公共交通会議の中で北秋田市全域を基本に据えて連携計画を策定中であり

(佐藤文信委員長)



生活バス15路線に補助金を当初計上

生活環境

病院事業会計は賛成多数

当委員会に付託された案件は、単行議案2件、予算案12件、継審陳情2件でした。

一般会計補正予算は、市民病院関係の予算が盛り込まれているので反対する討論がありませんでしたが、賛成多数をもって原案可決となりました。

20年度北秋田市病院事業会計補正予算は、精神科の医師確保のめどについての質疑が

あり、当局から9月に病院の使用許可申請する際には医師名簿を添付しなければならないのでその時点までには決めなければならぬとの答弁。

賛成多数で、可決となりました。

21年度北秋田市一般会計予算は、米内沢病院への負担金2億3200万円を計上。21年度北秋田市病院事業会計予

算は、40億1296万5000円を計上。

「病院の開院は10月からである。予算に医療に関する収支が載っていないのはなぜか」に対し「収支は指定管理者である厚生連が行うので記載されない」との答弁でした。

米内沢病院の職員を市民病院に派遣することについては、「昨年50人も退職し、結果的には派遣できる看護師がいなくなつた」との説明でした。

結審にあたり、反対討論として「収支計画、業務計画が出てなく、当初予算に全く進

展がない。入院、外来の患者数は実際は6ヶ月なのに7ヶ月分を計上し実態に合わない数字を載せ、当初から実態に見合う数字を載せるべきであり予算には反対」との意見が出されました。

両予算については、採決の結果、賛成多数で原案可決となりました。

後期高齢

陳情は不採択

後期高齢者医療制度中止、撤回の意見書採択を求める陳情書は、賛成少数で不採択と

なりました。またペット移動火葬車の取組み実施についての陳情については、全会一致で採択となりました。

(佐藤重光委員長)



10月開院予定の北秋田市民病院

福祉教育

第4期介護保険料を可決

当委員会に付託された案件は、条例案5件、予算案5件でした。

北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定についての質疑では、平成12年度からスタートした介護保険料の見直し時期となる点からのものですが、委員から1億5000万円を取り崩して保険料の制定とあるが調整基金は

いくらあるのか。もう少し5000万円位基金を取り崩して保険料を緩和調整出来ないか。

6、7、8段階の試算を示しながら、審議委員で検討されたか。の質疑と同様の反対討論がありました。

18年度以降から20年度末の見込みで3億3750万円位。これから1億5000万円

を取り崩して4期目の保険料を制定するもの。この取り崩して66円が緩和されるだけ。

年間30億円の運営費のうち、毎月3億3000万円位が支払われている。これ以上取り崩すと5期目に入って市民に高額な負担が伴う。激変緩和措置も含めて8段階に区分した資料を提示して検討された。平均値で前期より353円高くなるもの。採決に当り反対討論があり採決の結果、可否同数となり、委員会条例に従い総合的に判断をして原案を可決と決しました。

定期券購入予算可決

平成21年度一般会計予算所管分についても質疑、反対討論がありました。特に内陸線利用促進のための措置として沿線周辺の集落町内の小学生、中学生の登下校に対する補助定期購入代となるもの。スクールバス費用と合せ二重計上ではないか。また、学校給食費の値上げに対する質問と反対討論がありました。県からの指導、存続のため60万人、2億円以内まで赤字額を削減

するための施策、決して強制的ではない。個人の申請によって進めるもの。給食材料の高騰のためのもので地産地消を前提としたものであるとのことでした。前議案同様となり、原案可決と決しました。他の議案も原案可決とする。

(中嶋力蔵委員長)

賛成・反対が同数のときは、どうなるの？

北秋田市議会委員会条例第17条第1項では、委員会の採決は、出席委員（委員長を除く）の過半数で決まり、賛成・反対が同数のときは、委員長が決定すると定めています。

産業建設

上下水道

料金設定を集中審査

当委員会に付託された案件は、条例案9件、単行議案5件、承認1件、予算案12件、継続陳情3件でした。審査の結果全議案とも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

北秋田市水道料金改定には、本年度から合川森古統合簡水事業に33億円強。また阿仁地区の地域拡張事業が3億円位

の事業費になり、それらの建設改良費合計36億7000万円を3ケ年に加えて試算したものです。料金改定をしないと、21年度5800万円、22年度は7800万円、23年度には9400万円の不足が発生し、改定しないと簡易水道事業の運営ができないための改定です。鷹巣地区で18m使用で現行2645円が353

0円で885円アップ、合川地区が17mで3097円が3320円で223円アップ、森吉地区が17mで2693円が3320円で627円アップ、阿仁地区が16mで2040円が3100円で1060円アップ、全体の平均では17mで2619円が3320円で701円アップになります。下水道料金設定基準は、公共下水道の標準使用料の20m、農集の3人世帯の2835円に合わせて調整している。また、決算ベースで3150円にならないと地方交付税の対

阿仁スキー場 継続は県の主導で

継続審査としてきた陳情、阿仁スキー場の継続に関する陳情の3件については、会社側は無償譲渡という前提で受け入れ先を探している現状、また県は、田沢湖スキー場、内陸線、阿仁スキー場を一体と考える態度も明確になつて

いない。市も県や会社と検討してるが、結論に至っていない。よって継続審査が妥当としました。

(武藤忠孝委員長)



阿仁スキー場の経営状況について説明をうける委員

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う



一般質問は、2月26日に行われ、3名の議員が市長に対して、市民病院、子育て支援対策、財政状況、学力テスト等様々な問題についてたどしました。

*掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

問 基本理念「地域の輪（和）のなかで障がい者の自立を支える北秋田市」の啓発と意識改革の浸透を。

2期策定が進む中、個別支援計画の位置づけは地域移行へむけての入所者や在宅で親亡き後も暮らし続けたい人たちの将来に結びつく重要なもの。本人の声や意見が反映される取組みを。また、地域移行に向け施設の意識改革と就労支援も重要、福祉施設間の事業連携が今ある資源の地場産業を活かす。また、空き家の居住活用などアイデアを活かす分野が多々。ピンチをチャンスに。自立支援協議会への提案としたい、取組みを。



小塚光子 議員
(千光会)

回答 質問

命の絆 障害者個別支援計画は

専門部会を設置し取組む

答 ふれあい学級は地域移行へのキツカケになる貴重な事業、市の支援で継続を。

答 障害者生活支援センターは自立支援の相談や要望、

子は地域の宝 支援に本腰を

各課連携で支援したい

問 子育て支援対策は15年度から策定、全庁舎内が子育て支援に取組む体制が記され嬉しく思う。が、具体的に見えてこない。現状と今後について問う。

答 保健分野は母子保健事業と合わせ充実を。農林分野は地産地消とふれあい体験。商工分野は雇用対策と労働者の福祉増進。建設分野では生活道路の管理。教育分野では保育児給食など各課連携で取組む意向、情報誌も含め機構改革に合わせ改定し進める。

問 介護保険料は21年度より平均で353円上昇し4

二一ズが非常に高く理念も浸透されてきていると思う。21年度からは、個別支援計画を重要と考え専門部会を設置する。特に施設等の地域移行、就労支援に力を入れるなど、きめ細かい展開で実施へ。ふれあい学級は上小阿仁村と協議し支援を継続したい。

795円、しかし激変緩和廃止で400円、1000円以上上昇の格差も事実、住民説明会で理解得られての予算計上か。保険料納めでも負担困難でサービスイズでない状況が想定（この経済危機真つ只中に水道料金含公共料金共上昇は疑問）

4期介護事業は公平公正に展開出来るよう行政責務を。

答 運営委員会でも保険料段階別の議論あり6段階に集約、再度住民説明会を実施し理解へ。4期は在宅や認知症支援、介護予防、医療、福祉一体の仕組みを。責務を持って実施指導する。

質 問	回 答
市の財政状況はいかに	起債は県と協議が必要



議員 吉 文 千
(会 光 千)

問 市の財政状況はいかに。

答 実質公債費比率は19年度17・9%でした。20年度18・3%の予定、23年度19・3%の予定で、起債は県と相談しなければなりません。

市民病院の負担金は

合意できる負担金に

問 市民病院の次の7点について答えてください。

第1は中央病院の跡地はどうなっているか。第2は、21年度は6ヶ月の運営ですが、22年度の総収入の予定額と市民病院の利息を含む総額はいくら。第3は、昨年11月5日指定管理者の厚生連から「市に応分の負担を」といわれたが、その根拠は何か。第4は、指定管理者が条例を守って決められていない。しかも負担金について「双方で合意できる負担金となるよう内容を

検討する」との文書がある。第5は、がん拠点病院にしたいとか、放射線対策は十分か。第6は、精神科はどうか。第7は、退任後の役割が報道されたが根拠は。
答 中央病院の跡地は検討中で決まっています。22年度の総収入は44億円、病院本体の総額は元金71億6000万円、30年の利息24億5000万円、総額96億1000万円になる。合意できるような負担金にする。がん治療は放射線治療で今は置かない。精神科は

厚生連ではやらないし医師もいないとのことですが、政策医療なのでやりたい。退任後のことは私の考えをいいました。

問 若者の雇用対策はどうか。市に「企業誘致の計画がない」ことをどう考えるか。

答 この企業を募集していませんとはいっていない。何んでもいいので来てくださーんといっています。

問 全国的な不況で解雇や派遣切り等社会問題になっている。市のセーフティネットは役割を果たしているか。

答 1月に対策本部を置き市の臨時職員19名の募集をした。37名の応募で条件合致は1名。生活保護の申請は増加していない。

問 合併から4年をどんな総括をされますか。

答 合併特例債を29億5千万円で、町単独でやれなかったことができた。イベントや生涯学習なども地域間交流ができた。

問 地産地消の取組みは。
答 米の消費が6トン増加、野菜は15品目32・4%で微増、更にふやしたい。

質 問	回 答
市長の手で再度手直しを	新市長という気もある



議員 岡 由 福
(共 産 党 議 員 団)

問 北秋田市医療整備基本構想は平成17年9月に策定した。平成19年6月に変更し、その後さらに変えたが基本構想の手直しはない。

当初、地域のセンター病院として急性期患者を対象とした地域医療支援病院、そして救急医療体制の整備、がん治療の充実など多機能の医療提供ができる病院として計画されたが今では大きく後退している。

医師確保は厳しいとのことであるが、1億5000万円の循環器医療器具を導入予定と聞く。この器具は常勤医師1人だけでは使えない。医師を増やさないと使えないのではないか。

答 1人ではできないので大学から応援を得て稼働で

きると思っている。

問 市民病院へのアクセスについて具体化が進んでいるのか。

答 今、担当がいろいろ折衝している。

問 一昨年の基本構想（変更点）を再度手直しして次期市長に引き継ぐべきものと考えているが。

答 手直しして引き継ぐよりも、新市長がもう一度考えるのではないかなという気もある。

問 障害者自立支援法は平成23年度末までに入所者の地域生活への移行が計画されている。これを達成するためには、自立支援法の欠陥を自治体が補うことになる。北秋田市は地域の環境をどのように整えていく計画か。

通学路街灯の整備を

各団体に要請している

問 学力テストと通学路街灯について。

寺田知事が県内市町村別平均正答率を一方的に公表し、序列化へ過度の競争を招くことや教委の独自性を侵すものとして批判が強まった。また、ノーベル物理学賞受賞者益川敏英氏が日本を受験体制を「教育汚染」と指摘するように多くの問題がある。全員受験でなければならぬこのテストの調査目的は何か。

答 学力テストと通学路街灯について。学力テストは大きく2つある。1つは、学習指導要領に基づいた教育が行われているか。もう1つは、学校の状況、実態を知ること。健康診断と同じような意味合いを持つ調査と思っている。

問 通学路及びその街灯の整備が進んでいないのではないか。

答 街灯の整備については、各団体に協議して要請しているところである。

人事案件

本定例会に2件の人事同意案件が提案され、それぞれ次のとおり同意することに決定しました。

◎北秋田市七日市財産区

管理会委員

佐藤 清孝氏
長岐 龍一氏
畠山 一郎氏
畠山 鐵男氏
宮腰 光雄氏

◎人権擁護委員候補者

渡辺 美喜夫氏（新任）

浦田字大淵

千葉賢一郎氏
堀部 明博氏

議会運営委員の選任

原田醇一議員（会派：公明正大）の議会運営委員の辞任に伴い、同会派の松田光朗議員が議会運営委員に選任されました。

会派の異動

北秋田市議会会派の公明正大（原田醇一代表）から吉岡興議員の退会による会派異動届が3月10日に提出されました。

職員紹介

4月1日付の北秋田市議会事務局の職員は次のとおりです。どうぞよろしく願います。

◎事務局長 今畠 健一

主 幹 土濃塚 廣孝
副主幹 木村 元紀
副主幹 松橋 みどり
副主幹 米澤 田茂

市議会議員補欠選挙 吉田仁吉郎氏当選



4月12日に投票が行われた市議会議員補欠選挙で、吉田仁吉郎氏（67・阿仁吉田）が当選されました。常任委員会等の所属につきましては次号でお知らせいたします。

常任委員会の名称と所管が変わります

市の機構改革に伴い、常任委員会の名称と所管の一部を改正しました。

主なものは次のとおりです。

◎総務企画常任委員会（旧）

名称を総務財政常任委員会とし、総務部・財務部・会計課・選挙管理委員会・監査委員及び他の常任委員会に属さない事項を所管します。

◎生活環境常任委員会（旧）

名称を教育民生常任委員会とし、市民生活部・消防本部及び教育委員会に属する事項を所管します。

◎福祉教育常任委員会（旧）

名称を健康福祉常任委員会とし、健康福祉部に属する事項を所管します。

◎産業建設常任委員会

名称の変更はありません。産業部・農業委員会及び建設部（公営企業の組織を含みます）に属する事項を所管します。

議会の傍聴

お待ちしています

あとがき

♪ 拝啓 この手紙読んでるあなたは、多くの中学生は今と未来の自分に思いをはせ歌う、大人には時を越え心を打つ卒業式。その曲が脳裏に浮かぶ責任ある3月議会でした。補正予算は定額給付金・中学校耐震工事・子育て応援給付など安心へ結びつく財源がおもでした。

21年度新年度予算は骨格でスタート。今後の事業展開には厳しい財政事情ですが議員一人ひとりが責任を持ち市民の声を市政に反映議論を交わす様子が見えるような「市議会だより」をと思っています。皆様方のご意見をお寄せくださいますようお願いします。

（小塚 光子）



みなさんからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結 果	意見書
後期高齢者医療制度中止・撤回の意見書採択を求める陳情書	秋田県社会福祉推進協議会 会長 渡辺 淳	不採択	
森吉山阿仁スキー場ゴンドラ運行の従来通りの継続に関する陳情	高津森宿泊業協議会 代表 阿仁の森ぶなホテル 山田 博康	継続審査	
阿仁スキー場の営業継続に関する陳情書	SNOWGARDENTEAM雪庭 代表 柳田 征一郎	継続審査	
阿仁スキー場閉鎖中止の陳情	バススキークラブ 会長 濱田 員嘉	継続審査	
ペット移動火葬車の取締り実施についての陳情書	日本動物霊園連合 代表 久喜 清外	採 択	
日米地位協定に関わる「裁判権放棄の日米密約」の公表と廃棄を求める要請について（陳情）	秋田県平和委員会 理事長 風間 幸哉	採 択	提 出
最低賃金の大幅引き上げと、全国一律最低賃金制度確立を国に求める意見書採択を求める陳情書	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 鷹巣阿仁地域労働組合総連合 議長 佐藤 章雄	採 択	提 出